

2021年10月1日

公認団体・準公認団体部長 各位

神奈川大学
学生生活支援部
保健管理センター

コロナ禍の課外活動において団体責任者(部長・監督)が行うべきことについて

課外活動を再開するにあたり、下記の事項については、団体の責任者のもとで確実に把握・管理・実施していただくようお願いいたします。

なお、感染者および濃厚接触者が発生した際には、部長が関連の対応マニュアルに沿って速やかにご対応いただくこととなりますので、団体の責任者としてその内容を十分ご理解いただきますようお願いいたします。

また、後日部内の連絡・管理体制が不十分と判明した場合には、団体の活動を停止することにつながりますので、部長の責任のもとで必ず徹底させてください。

記

1. 部員・同居家族の体調の把握・管理

部長の責任のもと、必ず連絡・把握・管理ができる体制を整備してください。

また、添付の「事例」を参考に、本人のみならず同居する家族の体調不良時には、自己判断で活動させず、この学内ルールを遵守することを徹底させてください。

① 発熱、体調不良時は、絶対に活動に参加させない

・体調不良：わずかな体調の異変も含みます(発熱、咳、だるさ、喉の痛みなど)

※発熱：37.0℃以上、平熱が高めの人は+0.5℃

② 同居家族(60時間以内に一緒に過ごした人)が、体調不良となった場合は、自分に症状がなくても、活動には絶対に参加させない

※ 活動参加が可能となる判断

体調不良者(本人または同居家族等)が、解熱剤や風邪薬を内服せず、48時間症状が見られず経過した場合は活動に参加可能

※ 団体の責任者が判断する(不明な場合は必ず保健管理センターに相談する)

2. 感染者・濃厚接触者が発生した際の対応

感染者、濃厚接触者が出た際は、部長が「新型コロナ感染者・濃厚接触者発生時の団体責任者の対応マニュアル」に沿って速やかに団体の活動を全面的に休止し、部員等から接触状況を聞き取り、把握したうえで大学への連絡等の対応を行ってください。

このために常に部員と連絡が取れる体制を作り、対応マニュアルを印刷するなどして、速やかに対応を行ってください。

以上

【事例】

- ① 同居家族が体調不良であるにもかかわらず、キャンパスに入構し、友人と食事・おしゃべり。翌日、同居家族がコロナに感染したことが判明し、本人も感染していた。感染力の強い時期にキャンパスに入構し、多くの人と接していた。

➡ 自分に症状がなくても、同居家族が体調不良の際は、自分も感染している可能性があります。同居家族が体調不良時には、絶対にキャンパスに入構させず、活動にも参加させないでください。

- ② 発熱がみられ、内科を受診しPCR検査で陰性、風邪と診断された。翌日、解熱したため少し咳が出ていたがバイトへ。帰宅後、再び発熱。再診し2回目のPCR検査で陽性が判明した。

➡ PCR検査で偽陰性(感染しているが陰性となる場合)は、10~30%で出現。
症状が消失して、48時間を経過するまでは、「陰性」でも「風邪でコロナではない」と言われても、絶対にキャンパス入構させず、活動にも参加させないでください。

- ③ ・喉に違和感があったが、扁桃腺が腫れやすいタイプと自己判断し、キャンパスに入構し、友人とおしゃべり。
・微熱があったが、嗅覚・味覚に異常はなかったので大丈夫と自己判断し、友人と遊んだり、アルバイトに行った。
・倦怠感があったが、前日の運動の疲れだと自己判断し、キャンパスに入構し、友人とおしゃべり。

➡ いずれもコロナの初期症状でその後感染が判明。感染力が強い時期(初期症状の時)に、多くの人と濃厚に接触していた。味覚・嗅覚障害は見られないこともある。
わずかな体調不良であっても、絶対にキャンパスに入構させず、活動にも参加させないでください。
勝手な自己判断で、絶対にキャンパスに入構したり、活動に参加することのないようにしてください。

- ④ ・練習後、帰宅途中に複数人で夕飯を一緒に食べた。
・コロナ禍でも今まで通りで大丈夫。
この前、飲み会やってもコロナに感染しなかった、大丈夫だったから、今回もきっと大丈夫でしょ。
その次も、きっと大丈夫じゃないかと、複数集まって飲み会、食事会が常態化。
・気合を入れるには、やはり大声が必要と言われた。
・コロナ禍で、この大声はいいのかな? 飲み会はまずいでしょと思っていたが、言えなかった...

➡ 日ごろから「活動計画書」に記載の感染対策を徹底しないと、一気に感染拡大しクラスター発生。
他の部活の部員と一緒に遊んで、部外者にも感染は拡大した。他の部活でも一時練習中止に。

- ⑤ ワクチン接種後に発熱。副反応だと考え、自宅に友人を招く。実はコロナに感染していて、濃厚接触者が発生

➡ ワクチン接種後も感染する可能性があります。発熱や体調不良時には、安静にして人との接触は控えてください。

※ 変異株の感染力は、従前の1.9倍ともいわれています。